

ケアマネかわら版

第24号

介護ショップ 創研

山形市美畑町13番14号

TEL023-634-2001

FAX023-634-2002

山形県立保健医療大学

福祉機器住環境整備学演習を

オンライン

で

行いました。

出席者：森直樹先生、保健医療大学作業療法学科学生23名

医療創生大学作業療法学科慶徳民夫先生、

創研専務・部長

令和2年10月1日(木)

山形県立保健医療福祉大学作業療法学科の皆様と、本年はコロナ感染予防の為、オンラインでの福祉機器住環境整備学演習を行いました。新しい試みでありましたが、我々も大変勉強になり、学生さんからもご好評頂きました。

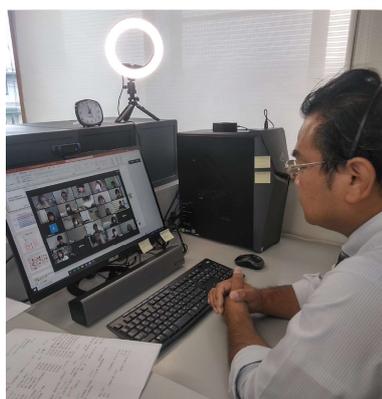


本学、山形県立保健医療大学作業療法学科のシラバスには、福祉用具の理解を深めるための福祉機器住環境整備学演習という科目があります。例年、創研様、福祉用具・住宅改修製品メーカー様より、商品展示のご協力と説明をいただき、充実した講義・演習がなされております。今年は、コロナ感染症(COVID-19)の影響により、開講も危ぶまれましたが株式会社 創研様と本学の非常勤講師であります医療創生大学作業療法学科 慶徳民夫先生のご尽力によりオンライン講義、演習がなされました。福祉用具の

実際を体験できないデメリットを補うべく視聴覚教材としてYou tube動画を多く活用いただき、また、わかりやすいスライドを作成いただき、創研様には本当に感謝申しあげます。オンラインでありながらも、患者様の生活改善を願う気持ちが熱いご講義に込められており、感銘を受けました。創研様、本当にありがとうございました。学生に代わり深謝申し上げます。

山形県立保健医療大学作業療法学科森直樹先生

各地(大学-生徒さん-福島-創研)を繋ぎました。



今回の演習では、各メーカー様にもご協力頂き、動画・スライド・写真を使って、福祉用具、住宅改修について説明を行いました。

これまで恒例だった山形県立保健医療大学の学演習を、コロナ禍により、初めてリモートによるオンライン研修という形で行いました。実際に福祉用具を見て、触れての体験をする事が本来の目的でありましたが、オンラインでの研修では、体験してもらえないため、どうやったら学生さんに分かりやすく伝える事ができるだろうと各メーカー様にもご協力頂き、映像、スライド、写真など様々なツールを準備し、社内に入念な打ち合わせを行い、当日を迎えました。講義は先生方のお力添えもあり無事に終える事ができました。

今回のオンラインでの学演習を通じ感じたのは、今後の研修会や打合せはその時の流れに合った進め方をしていかなければならないという事です。withコロナの時代には柔軟な対応と工夫をしながら何ごとにも対応していく事が大切であると感じました。



福祉事業部 布川部長



株式会社 創研

福島・山形をZoomでつないで 演習を行いました。

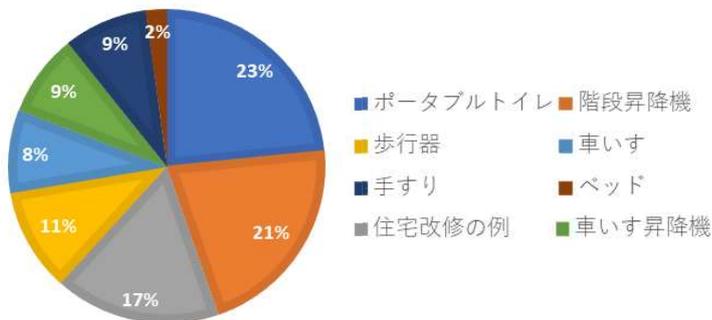


毎年、創研様の社屋にお邪魔させていただいて実施していた県立保健医療大学作業療法学科3年生の「福祉機器・住環境整備学演習」の学外演習ですが、今年はCOVID-19感染の影響をまともに受け、やむなくリモートによる演習となりました。リモートによる演習授業の学習効果については私自身半信半疑でしたが、結果的には学生さんからの反応は良好でした。これも偏に、福祉用具メーカーさんと綿密な交渉をしてYouTube等のSNS媒体を効果的に活用するというリモートならではの準備をしていただいた創研様の真摯な取り組み姿勢の賜物であると心より感謝申し上げる次第です。

国のリフォーム会社の中でも、創研様のように医療系学生の教育にも積極的に力を注がれている企業は珍しいと言えるでしょう。これからの住まいづくりは単に家を作るのではなく、暮らしを創っていく発想が求められています。そのために、地域コミュニティ・子育て・教育・カルチャー・就労・ICT等々様々な領域とのコラボレーションが必要です。特にリハビリテーション領域としてはCOVID-19感染拡大によって社会とのつながりが分断されたことによる生活の質の低下が懸念されており、こういった点からも、今後の暮らしのあり方について創研様と共に調査・研究を進めていきたいと考えています。これからも、豊かな暮らしづくりに貢献される創研様であり続けることを期待しております。

医療創生大学作業療法学科慶徳民夫先生

?? 学生さんに聞きました ?? 何に一番興味を持たれましたか？



一番多かったのはポータブルトイレでした。その理由として、「在宅復帰する上で排泄は介護者にとって大きな負担になり、また、ポータブルトイレ使用による汚物処理やにのの問題をどのように解決するのが課題だったため」との事でした。

アンケートのご協力ありがとうございました



リモート演習後の生徒さんのアンケートには、たくさんの、学びに対する熱い思いが込められていました。貴重なご意見となりました。ありがとうございました。

今年も、山形県立保健医療大学作業療法学科の学生の皆さんに向けて、研修を行いました。例年では、弊社に研修会場を設営し、実際に福祉機器を体験するという内容で開催させて頂いておりましたが、今年はコロナウイルス感染拡大を鑑み、中止も検討しておりました。そんな中、医療創生大学の慶徳民夫先生と保健医療大学の森直樹先生より、ZOOMを使って「オンライン研修会」という形で開催できないだろうかご相談を頂きました。弊社では、6月頃より事務所内にリモートスペースを設置を計画、8月に完成しておりましたので、十分可能と判断し、快諾させて頂きました。

研修会当日は、22名の学生さんとオンラインで繋がり、福祉用具の説明と住宅改修について約2時間の講義を行わせて頂きました。非対面ではありましたが、学生の皆さんの画面に映る真剣な顔と眼差しを確認し、我々にとっても、大変有意義な研修会でした。これからの「withコロナ」の時代を乗り越える為に、何事にも迅速かつ柔軟な対応で臨みたいと思っております。



建築事業部渡辺専務

最近のリフォーム工事事例

～外階段、コンクリートスロープ及び手摺取付工事～

工事の動機

利用者様(夫)は週4回ディサービスに車イスで通っておりまして。外出時は玄関の段差のある所と外部の方に急な階段が3段もあり、車イス移動は困難の状況であり、それを解消すべく工事の提案をさせていただきました。

工事内容

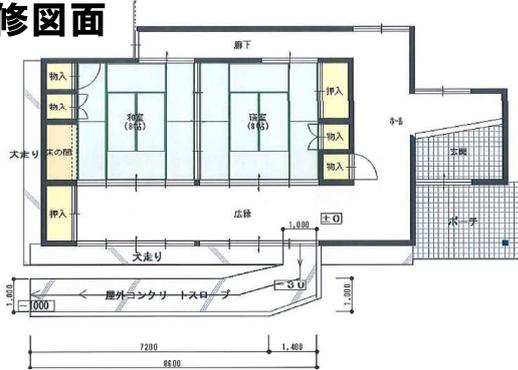
利用者様の寝室から車庫まで真っ直ぐに出られる様コンクリートスロープ工事を行いました。高低差が大きかったため、介助者である奥さんでも押せるように緩やかな勾配1/8の傾斜で造り、冬場の事を考え片側に手すりを取付けました。

家族の評価

車イスの通行が楽になり、利用者介助者共に大変楽になりました。もう少し外に出る機会を増やしていきたいと思っております。工事の皆さんありがとうございました。

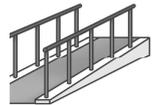


改修図面

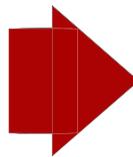


工事概要

- 《工事期間》 12日間 R2年9月(養生を含め)
- 《工事箇所》 屋外アプローチ
- 《工事内容》 土間コンクリートスロープ工事
屋外手摺取付工事
- 《補助事業》 在宅介護支援住宅改修30万円補助
- 《所在地》 山形市
- 《要介護認定等》 要介護4
- 《対象者年齢》 68歳



改修前



改修後

福祉関連スタッフ紹介 今後ともよろしくお願ひ致します!!



布川 義博 (部長)
二級建築士
福祉住環境コーディネーター
福祉用具専門相談員
耐震診断士
既存住宅現況検査技術者



加賀 盛彦 (営業)
福祉住環境コーディネーター
福祉用具専門相談員



小松 由佳 (営業)
福祉住環境コーディネーター
福祉用具専門相談員
福祉用具プランナー



吉田 菜美 (業務)
福祉住環境コーディネーター
福祉用具専門相談員



渡邊 旬哉 (専務)
二級建築士
福祉住環境コーディネーター
福祉用具専門相談員
耐震診断士
既存住宅現況検査技術者

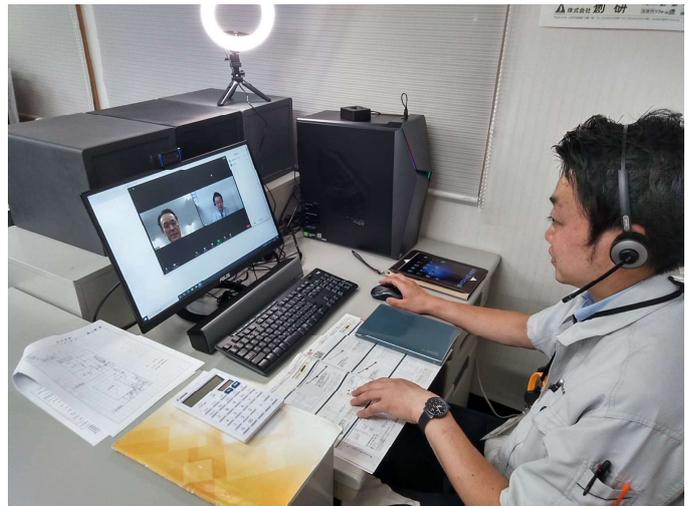


高橋 正志 (課長)
二級建築施工管理技士

創研では 専用のオンラインスペースを設け お客様・ケアマネージャーの方々と打ち合わせをさせて頂いております。

コロナ禍での仕事のやり方が日々変わって来ております。創研では、事務所内にオンラインスペースを造設し『Zoom』を使用したリモート打ち合わせや商談を行っています。写真やカタログ、その他様々な資料を画面で見えながら進める事ができます。今後は、担当者会議や各種打ち合わせをリモートでも行われるものと予想されます。利用者の気持ちに立って、わかりやすい提案をしていきたいと考えております。

福祉用具の説明



オンラインでの打ち合わせ風景

カタログやわかりやすい写真を見ながら説明する事でお客様が安心して商品を選ぶことが出来ます。

手すり取付のイメージの説明



イメージ画像



実際の改修後の写真

手すり工事の打合せの際に、実際の取付イメージが想像しやすいよう、取付予定箇所の写真に手すり取付イメージを入れる事で、お客様にわかりやすく説明する事ができます。

次世代リフォーム

株式会社 創研

次世代リフォーム館

介護ショップ 創研

お問合せ・ご相談はお気軽にどうぞ

023-634-2001

〒990-2493 山形県山形市美畑町13番14号 TEL 023-634-2000 FAX 023-634-2002

✉ souken@bb-town.jp

次世代リフォーム館 🔍